

## 日本語教育機関のための自己点検・評価項目（2025年度）

神戸日語学院  
2025年6月30日

### 評価項目1： 教育の理念・目標と、その具体化のための方策

理念：相互理解・共生・自立

- ① 本邦におけるコミュニケーション力を養い、日本語、日本文化、習慣などを学ぶ。
- ② 異なる国・地域の文化・立場を理解し、相互に尊重できる人を育てる。
- ③ 社会で自立して生きていくことができる人材を育てる。
- ④ それぞれが持つ能力を最大限に発揮できる学習環境を整える。

目標：

- ① 日本社会で通用する日本語を獲得するために、会話を重視した学習や生活を重視する。
- ② 日本での留学生活を通して、信頼・勤勉・思いやりの精神を育む。
- ③ 日本文化を理解し、自立して生きていける国際人としての成長を助ける。

### 評価項目2： 日本語教育関連の運営：

評価内容	回答
① 認定日本語教育機関認定基準又は日本語教育機関の告示基準に適合していることを年1回以上確認しているか	年一回、基準に照らし合わせて確認している。 告示基準に沿った運営を心掛けており、随時参照している。
② 運営の透明性が確保されているか	職務内容等は周知されているが、文書化されていないこともあるので、現在作成中。 総務・会計部及び役員により、予算編成をされており、それに沿って執行されている。
③ 運営に必要な情報が機関内の関係者間で共有されているか	校長をはじめ全教職員がeメールやラインワークス等により情報共有して行動している。その他、学内サーバーの利用により、必要な情報の蓄積と一元化がされ共有されている。
④ 運営にあたり法令を遵守しているか	コンプライアンスの取り組みとしては、本年度はパワハラ研修を行い、教職員が仕事をしやすい環境を整えている。 その他、特に入管への届出や報告は、期日を守り行っている。

### 評価項目3： 情報公開

評価内容	回答
① 機関の設置者、教育内容、	神戸日語学院のホームページで必要な情報を公開している。

定員、進路等の情報をホームページ等で公開しているか	
② 募集及び納付金に関する情報を公開している	ホームページで確認できる。
③ 入学希望者やその関係者に理解できる言語で情報提供を行っているか	ホームページでは日本語と英語で情報公開をしている。
④ 情報は十分に整理されて公開されており、必要な情報がどこにあるかがわかりやすく示されているか	ホームページの内容はわかりやすく整理されている。随時改善を行うべく、現在も取り組み中。
⑤ 公開されている情報は常に最新のものに更新されているか	ホームページの内容はできる限り最新にするように注意している。

#### 評価項目 4：入学者の募集と選考

評価内容	回答
① 適切な方法で入学者の募集を行っているか	毎年、経営計画と教育目標にあった募集計画を立案している。海外の募集代理人には、必要に応じて説明会を実施し、募集内容や詳細を伝えている。募集代理人とは定期的に連絡をとり、活動内容に関してすり合わせを行っており、随時相談に応じている。
② 適切な方法で入学者の選考が行われているか	入学志願者には、願書、留学理由書、経費支弁書を提出してもらい、学生のニーズや情報を確認している。最終学歴の成績や、日本語能力テストの結果を確認し、オンラインでの面接を行い日本語能力や学習意欲を確認して、可否を決定している。経費支弁能力や経歴等も提出された根拠資料に不自然な点がないか確認している。入学者選考のプロセスも募集要項に明確に記載されており、ホームページで確認できる。

#### 評価項目 5：教育活動

評価内容	回答
① 教育目標に合致した教育活動の計画を作成しているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 学生のニーズに応じた日本語習得の目的を設定し、その学習背景を考慮したうえでカリキュラムを編成している。</li> <li>◆ 習熟度はさまざまなタスクの達成度によりその運用力を測る。</li> <li>◆ 運用力重視のカリキュラムを実行するために教科書「できる日本語」の内容に準じた授業を工夫し実行している。</li> </ul>
② 教育活動を適切に実施するための手立てを講じているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 年に2度の講師会、また研修会、カリキュラムを通じて方針と計画を周知している。</li> <li>◆ クラスは試験のみではなく、学習背景、運用力の伸びなどを考</li> </ul>

	<p>慮した編成になっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 学期ごとに各クラスの目標とするレベル、授業内容を学生に提示し、理解を得た上で授業を進めている。</li> <li>◆ 出席簿の記録および授業内容の記録と、教師間の共有は毎日の報告でなされている。</li> <li>◆ 判定基準は生活マニュアルに記載され、学生に周知されている。年に2回成績表を配布し、判定結果を的確に伝えている。</li> </ul>
③ 授業を含む教育活動全体の検証を定期的かつ適切に行っているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 学期ごとの講師会において教師間で全体の総括を行いクラスごとの総括も同時に行う。評価の基準はクラス運営の適否、学生の習熟度によってあらわされる。</li> <li>◆ 学生からは資格外活動についてのフィードバックをもらっている。</li> <li>◆ 運用力をのばすための様々な試みを継続的に実施、コミュニケーション能力の伸びは、J L P T聴解において、また資格外活動におけるコミュニケーション能力の高さも実証されている。</li> <li>◆ 講師会、ミーティングの総括より教育内容の振り返りが常に行われ、教育能力の向上に取り組んでいる。</li> <li>◆ 評価システムの改善は常に行われており、教育活動全体の検証方法や基準については検討中である。</li> <li>◆ 多方向的な評価の一つとして、資格外活動先からの評価の導入を検討している。</li> </ul>

#### 評価項目 6：教職員育成

評価内容	回答
① 教育力及び支援力強化のための取組を適切に行っているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 採用時の研修で教育方針に必要とされる教育能力と資質を示し理解を得る。</li> <li>◆ 教育方針に合致した授業が実施できるまで研修を行う。</li> <li>◆ 個別面談で振り返りの機会を設けている。講師会等で情報共有を行い研鑽の機会としている。</li> <li>◆ 他機関による研修会等の情報共有を積極的に行っている。また当校主催の講師研修会も企画実行している。</li> <li>◆ 教科書編集者を招いて、教科書編集理解や利用の実際について研修会を実施した。</li> </ul>
② 教職員の自己評価等を含む多方向的な教職員評価を行っているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 主任との個人面談において授業内容を振り返り成長のための機会とすることは開示されている。</li> <li>◆ 評価システムの導入はまだされていない。(財)日本語教育振興協会の評価システムの導入を検討している。</li> <li>◆ 個人面談において教科結果は的確に伝え、個々の内省により能力・資質の向上に結び付いている。</li> </ul>

## 評価項目7：学生支援

評価内容	回答
① 日本社会を理解し、一構成員として活動するための取組を適切に行っているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 入学時や長期休暇前に学生に生活上のガイダンスを実施。また警察による注意事項の伝達などを行っている。</li> <li>◆ 生活指導担当者が特定され、周知されている。</li> <li>◆ 採用する日本語テキストにおいては日本文化に関する項目が多く、それを通じて日本人の考え方、習慣、文化等が伝えられている。その時々学校で日本文化に関するイベントを行っている。また、地域の学校、学生との交流により日本文化を知る機会が設けられている。</li> </ul>
② 進路指導を適切に行っているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 進路指導担当教員および職員によって、進路指導を実施している。</li> <li>◆ 学生との個人面談、進路相談等を定期的に行い学生の進路の希望を把握している。</li> <li>◆ 当校主催の大規模な進学説明会を3月から始め、進路に対する意識付けを早い時期から行っている。個々の進学先の担当者による個別説明会を常時実施。また、外部の進学フェアの紹介も行っている。全国の進学先の資料を取り寄せ、学校に常置し学生がいつでも見られるように配慮している。</li> <li>◆ 最終的な進学先を把握し、記録に残している。夏には卒業生による進学先報告会も実施。また進学先からの卒業生のその後の様子もレポートされている。</li> </ul>
③ 安全な留学生活を送るための適切な取組をしているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 定期健康診断を全員に実施し、感染症等が流行るときには、随時注意喚起を行っている。</li> <li>◆ 健康面で問題がないか授業を通して観察し、相談にも乗り、必要に応じて病院に案内している。</li> <li>◆ 火災、地震の避難訓練も実施した。</li> </ul>
④ 入国・在留に関する指導及び支援を適切に行っているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 入学以降、定期的に在留資格に関する指導を行っている。</li> <li>◆ 出席率と資格外活動時数については定期的に調査記録し学生にフィードバックしている。</li> </ul>

## 評価項目8：施設・設備

評価内容	回答
① 語学学習に適した施設・設備であるか	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 教室の衛生環境（採光、照明、換気、空調）は配慮されており、必要な機材はそろっている。また、プロジェクターとスクリーン及びWiFiを全教室に配置している。</li> <li>◆ Windows パソコンを1クラス人数分備えて、ICT教育に備えている。</li> </ul>
② 学生及び教職員の安全を考慮し、適切な対処を行っている	<p>法令上必要な設備は整えている。</p> <p>バリアフリーではないが、緊急時の対策も避難訓練等で確認してい</p>

か	る。消防法上の設備は整っており、毎年検査を受けている。その他、天災等に対応の情報の繰り返し提供を検討している。
---	---------------------------------------------------------

#### 評価項目 9：地域貢献・社会貢献

評価内容	回答
① 地域貢献、社会貢献となる活動を行っているか	<p>地域・社会貢献は可能な限り積極的に行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 小中学校におけるボランティア通訳の要請があり2025年度実績ができる。</li> <li>◆ 学習発表会を地域の学校との共催で行い、学生同士の交流を行う。</li> <li>◆ 地域における日本の教育推進のために、当校において講演会を主催し、多くの参加があった。</li> <li>◆ 学校の授業課題で外国人日本語教育を課題とした高校生を本校で受け入れ、当校授業に参加。</li> <li>◆ 地域の警察とも連携し、本校学生に安全講習会等行ってもらったり、警察からの依頼により、「自転車の安全な乗り方のチラシ」を翻訳に協力。</li> <li>◆ 警察署の方々に「やさしい日本語」の講習会を開催。</li> </ul>

#### 評価項目 10： 財務

評価内容	回答
① 日本語教育を継続的に行うために適切な財務状況であるか	<p>財務は安定している。</p> <p>予算及び収支計画を立て、実行している。</p> <p>外部の税理士事務所と顧問契約をしており、会社の財務状況が適正かチェックしてもらっている。</p>